

第1回 下水道運営審議会 要旨

令和6年1月24日(水)

午後1時30分から午後3時

審議委員 10名 応召委員 10名

■萩原 宏和(会長)

■柴 卓一

■唐澤 修身

■小野 文久

■小松 英樹

■伊藤 武

■高山 宜門

■小松 ちよ子

■平林 さよ子

■南 朋子

記者 3社

オブザーバー

企画振興課長 唐澤 勝浩

料金改定支援業務事業者

日本会計コンサルティング株式会社 南澤 淳

事務局

水道課長 藤澤 康也 水道管理係長 小林 学 水道管理係 塩入 麻衣子

1. 開会
2. 任命書の交付
委員全員
3. 町長あいさつ

能登の地震であるが復旧は進んでいない。町もできる限りの支援ということで防災協定を結んでいる愛知県幸田町が、内灘町と防災協定を結んでいてその関係で携帯トイレの支援をさせていただいた。本日七尾市へ水道課から給水車が出向いて5日間支援する。まだ15,900戸が断水していて、復旧も4月5月になるところもあるという。水のありがたさを感じるし、当町で起きた時に今の施設が十分対応できるのか心配なところである。今回は下水道についてお願いしたい。下水道は事業の面では公共1つ、特環1つ、農集4つの施設を運営しており、下水道区域を広げていく場面でなく、基本的に今ある施設をどう運営していくかの問題が大きな論点である。下水道接続率もこの何年か補助事業をやりながら接続率上昇にむけてやってきて一定の成果はあったが高齢化とか住宅の老朽化などから90%からなかなか上がらない。処理水と実際に収入となる使用料がマッチしない。有収率が低いということが課題である。水道は平成25年度に値下げをしている。下

水道は平成 30 年に 10%値上げをして、令和元年度に消費税 2%分の値上げをしている。収支の面では赤字ではないが、一般会計からの繰入金が非常に大きくなっていて収支を保っている。また補填財源がカスカスになってきている。値上げをどうするのかという議論であるが、施設の老朽化もある。ご審議いただきたい。平成 30 年度に一定の方向を出してあるので確認していただき、審議に入っていただきたい。

4. 自己紹介

全員

5. 箕輪町下水道運営審議会について

資料について説明（事務局）

6. 下水道事業の概要について

資料について説明（事務局）

7. 正副会長の互選

会長 萩原 宏和

副会長 小松 英樹

8. 下水道使用料の見直しについて（諮問）

9. 会議事項

■会長

下水道事業経営戦略の改定について、事務局からの説明を求める

■事務局

配布資料に沿って説明

（質疑）

■委員

有収率を上げる具体的な方策はされているのか。

■事務局

前からの課題ですぐには解決しないが目視とカメラにて毎年管路点検をしている。大きな侵入水の発見には至っていない。点検をとおして徐々に見つけていく。

■会長

他に意見はあるか。（なし）

本日の会議事項については終了する。

■事務局

スケジュール表を説明。

今回ゼロベースで始まるが、収益的収支、営業収支に弾力性がなく動力費、電気料の値上げが続いてハラハラしている。施設の更新工事も控えている。何もしないと下水道が使えない状況がきてしまう。事務局としては値上げの必要性を感じている。9月までに方向

性を決めていきたい。

今回は3月22日（金）で行う。

■委員

下水道の接続補助金が打ち切られた。補助がなかったら下水道工事をしなかったかもしれない。

■事務局

補助金制度は一定の効果があったが、いつまで続けるのかということもあった。ご意見として承る。

■委員

資料は当日ではなく、内容を吟味したいため事前に送付して欲しい。

■事務局

次回以降改める。

午後3時 終了